



6月25日（水）晴れ 蘇武岳登山を無事に終えて

江平愛子

以前、植村直己の「青春を山に賭けて」を読み、人柄に惹かれていましたが、蘇武岳は彼の故郷の山と知り、きっと彼も何度も登ったのだらうと思うと感慨深い山行でした。林道から登山口まで2時間？程、道中は作業道路が大半で、しんどかったです。当日は梅雨の中休みで、強い日差しと蒸し暑さの中、熱中症予防の為に頻回の水分補給が必要でした。特に、赤松さんのスペシャルドリンクは助かりました！初夏の鮮やかな緑の中、山ぼうしの白い花が見頃、ひっそりと咲く一輪の鉄砲ユリ、マタタビの木を初めて見て半夏生との違いを教えてもらったりと、自然を楽しませてもらいました。登山口から頂上まで1時間ちょっと、4～5ヶ所の急な木の階段がきつかったですが、愛宕山の石段よりましでした。頂上からの眺望は360度とは言えないまでも、かなり見渡せました。ガスのせいで残念ながら白山は見えませんでした。兵庫の緑深い山々を眺めることができ気分爽快でした。昨年12月東海自然歩道ハイクで膝関節痛の為、途中リタイアした後は山行に参加できませんでした。サポーターやテーピングを活用して、愛宕山ペース登山から再開し、2度目の登山ができてホットしています。今回初めてダブルストックを使用しましたが、膝、足関節への負担が軽減され、以前より楽に感じました。とは言え、相変わらず体力不足を痛感、CL園上さん、SL赤松さん、皆さんに気遣っていただき、無事に登る事ができました。感謝です。

